

# わかば

NALC豊中・池田拠点「わかばの会」会報

改定 第30号 (通巻 第187号)

発行 平成25年3月

事務局 豊中市上野西3-13-55 ラピスマンション605

Tel&Fax 06-6852-4802

e-mail [nalctim2007@yahoo.co.jp](mailto:nalctim2007@yahoo.co.jp)

URL <http://sky.groceries.jp/nalctim2007/>

## 池田北豊島小学校ウィンターフェスタに参加

2月9日(土)10時から池田市立北豊島小学校でのウィンターフェスタにナルクわかばの会も始めて参加致しました。

表題は「変身! おじいさん、おばあさんになってみよう教室」で高齢者疑似体験教室。

平成17年から地域住民と児童の結びつきを深める為、多くの体験教室を企画、児童と父兄に加えて地域住民も交えて皆で思い出を作ろうと年3回実施されています。

11項目の教室があり、静電気で遊んじゃおう、親子囲碁、わくわく科学工作、フラワーアレンジ、料理、手品、茶道、体力測定、着物を楽しみましょう等があり、今回から疑似体験教室が加わりました。

疑似体験教室では児童3名、父兄1名、先生1名の計5名が参加、皆さんには高齢者になって頂き(白内障のメガネ、耳栓、手首と足には曲がりにくいような治具、指先には手袋をつけて)階段の昇り下り、小銭入れからお金の出し入れ、色彩カードの色の判別、パジャマの着付け、読書等の経験を熱心にして頂きました。終了後の感想はお年寄りの日常生活は大変なことが良くわかり、近くで困ったお年寄りがいたら手助けをしたいとの感想が多くありました。

終了後、料理教室手作りの美味しい温かい肉どんぶりに参加者全員舌つづみを打ち、午後1時頃散会。会員7名の皆さん土曜日の休日にかかわらず参加頂き厚くお礼申し上げます。(木村良三)



## 万博花見会のお知らせ

今年も恒例の「北摂拠点合同万博花見会」を開催いたします。ご家族、お友達の参加も歓迎致します。

- ・開催日時 4月6日(土) 10:30~15:30
- ・開催場所 万博記念公園 東大路広場(例年と同じ)
- ・お弁当 各自でご持参下さい。

申込み時にご予約いただければお弁当(お茶付き1,000円)を用意します。

- ・申込み 3月22日(金)までに事務所(06-6852-4802)

ご家族友人参加の場合は名前、性別、年齢、電話番号をお知らせ下さい。

- ・雨天中止 雨天中止は前日(4月5日)午前中に決定します。



## 事務局からのお知らせ



## ◎ 運営委員会スケジュール

24年度第11回 3月9日(土) 10:00~12:00 (事務所)

## ◎ 運営委員会議事録承認事項 (平成25年2月9日 出席者13名)

1. 北摂拠点合同花見会 (宮地)
  - ・4/6(金)開催、プログラム内容、拠点協力金の支出(5,000円)について承認された。
2. 1月分会計報告 (三村)
  - ・1月単月では3,944円の黒字。予算実績対比では、予算より290,941円の黒字。
3. 総会準備 (大井)
  - ・6/9(日)を第1候補日として豊中福社会館で開催、昼食は任意参加で「うお竹」と決定承認。  
(注：福社会館予約の都合で6/23(日)になりそうです)

## ◎ 会員活動

活動内訳		2月の活動(時間)	24年度累計(時間)
預託活動	総活動時間	156	1,899
	点数利用	0	84
	純増	156	1,815
奉仕活動		282	2,494

## ◎ 会員数 (2013/3/1現在)

	豊中	池田	その他	計
世帯数	116	26	14	156
会員数	176	39	22	237

## 新入会員のご紹介 (2月)

- \* 田中 龍男さん・静子さん 豊能町
- \* 吉富 博之さん・和代さん 豊中市

## 豊中第2ブロック会に参加して

2月17日(日)、わかばの会の事務所にお邪魔させていただきました。私自身は、新しい事務所に入らせていただくのは初めてだったため、その広さときれいさにびっくりしました。もし、家を替わるなら同じようなワンルームマンションに……と思うほどでした。

各自が簡単な自己紹介の後、事務報告を行い、お昼には自然食のお弁当をご馳走になりました。このお弁当も非常に美味しく、「次回の総会の昼食も、ぜひこのお弁当で」という声上がるほどでした。その後、様々な話題で盛り上がり、皆で楽しいひと時を過ごさせていただきました。特に、前回の総会における昼食時のエピソードでは、皆で声を上げて大笑いしていました。そして、最後には今後の活動予定を確認して、お開きとなりました。

昨年の総会で、健康で長生きする秘訣は「何でも良いから、よくしゃべること」とお聞きしましたが、今回参加された方は、美味しい自然食と多くのおしゃべり、そしてたくさんの笑いで、心も体も元気になったのではないかと思います。

(永吉健吾)



## 「絵画を楽しむ会」がスタートしました

毎月1回第3火曜日の午後、「絵画を楽しむ会」がスタートしました。初回の2月は雪のちらつく大変寒い日でしたが、6名の方が参加され、ポストカードやスケッチブックに、めいめい持ち寄った季節の花や果物を自由に描きました。絵筆を持つのは何年(何十年)振りでしょうか。絵は全く初心者の私には、絵具や筆の使い方もよくわかりません。描き始めたものの絵具で思うような色を出すことはなかなか難しく、約2時間悪戦苦闘して何とか花？らしき絵を描き終えることが出来ました。題材は同じでも感性は各人各様…、色形も皆さんそれぞれです。今回は上手下手に関わらず、絵で自分なりの個性が表現出来ることの楽しさ、素晴らしさを体験させて頂いたように思います。

ひと息ついた後、講師の奥野さんが国内外の旅先で長年描きためて来られたスケッチ画を見せて下さいました。どれも味わいのある素敵な作品でした。

皆さんも月一回、ご一緒に豊かな時間を過ごしませんか。奥野さんが優しく指導して下さいます。  
(見藤恵子)

### ☆月曜サロンのご案内☆

4月は毛糸でエコたわしを作ります。

日時：4月1日(月)13:00～16:00 場所：事務所 会費：200円

持ち物：かぎ針6号～7号 棒針6号～7号 アクリルの毛糸(極太)

(100円ショップで売っています。少しはこちらでも準備いたします。) (大前裕子)



### ☆「絵画同好会」になります☆

2月より第3火曜日の13時より会員の奥野享さんを講師にお願いして発足した「絵画を楽しむ会」は、3月から同好会として月1回開きます。

沢山の方の参加をお待ちします。

吉田光代(090-7117-2341)

## 3月&4月の予定 (各場所については事務所にお尋ねください)

同好会、その他のイベント	3月		4月	
麻雀同好会(事務所)	10(日), 23(土)	10:00-16:00	14(日), 27(土)	10:00-16:00
カラオケ同好会	6(水), 27(水)	14:00-16:00	3(水), 17(水)	14:00-16:00
月曜サロン(囲碁・将棋、手芸 他)	4(月)	13:00-16:00	1(月)	13:00-16:00
遊友会	7(木)		—	
映画同好会	未定		未定	
天満天神繁昌亭	未定		未定	
ダンス同好会	13(水), 27(水)	13:30-15:30	10(水), 24(水)	13:30-15:30
太極拳同好会	15(金), 22(金)	10:00-12:00	19(金), 26(金)	10:00-12:00
絵画	19(火)	13:00-16:00	16(火)	13:00-16:00
会報発送	8(金)	11:30～	12(金)	11:30～
豊中第1ブロック会	28(木)		—	
豊中第2ブロック会	—		21(日)	10:00-12:00
池田ブロック会議	18(月)	9:30-11:30	15(月)	9:30-11:30



## 手作り味噌講習会に参加して

1月27日、会員の石井たづ子さんの指導で手作り味噌に挑戦しました。石井さんが材料を全部持ってきて下さって実演をされ、私たちは配布されたプリントにメモを書き入れながら手際の良い動作を見つめました。大豆は綺麗に洗い一晩置き次の日は水ごと煮る。柔らかくなったらつぶし、塩となじませた麴と混ぜる。丸めて容器に詰めて完成する。この一連の作業を見つめながら幼い日祖母が台所で味噌作りのための豆を煮ていた事を思い出しました。

時間のかかるこの作業は祖母の仕事で、豆が煮えてくると何とも言えずいい匂いが台所にたちこめて、寒い季節のこの時期、部屋の中で遊んでいた私たち子供は豆が煮えたか覗きに行き、2、3粒味見をしてまた遊びに戻ったものでした。煮えるまで何回かのこの味見は、おやつのない時代の楽しみでもあったような気がします。

私は祖母の作った我が家のお味噌が大豆の形が残っていてあまり好きではなかったのですが、80歳を過ぎていた祖母には豆を潰す作業が大変だったのかもしれないと、今になって思い当たり反省しました。

今回のお味噌は9月頃から食べられるそうですが一年過ぎてからの方が美味しいとの事、一年後には仲間と結果を話しあえる事を楽しみにしたいと思います。  
(吉田光代)



## 映画「東京家族」鑑賞会のこと



映画鑑賞同好会の例会として、今回は1月28日に、あの「寅さんシリーズ」の山田洋次監督の「東京家族」を鑑賞。

この映画、昭和28年に小津安二郎が監督した名作「東京物語」に対するオマージュとして、山田監督が時代を現代に移しながら、出来るだけ前作と同じ視点で作られたもの。中国地方の小島に住む老夫妻が東京で生活している子供達を頼って一世一代の旅行をするが、それぞれの生活で忙しい子供達は2

人の面倒が見きれなくなり、半分放り出された老夫婦だが、それでも親子の絆をしっかりと保とうと努力して行く。

現代が抱えている高齢に伴う諸問題を、淡々と、しかし鋭く、厳しく描いている。高齢者には身に沁みる映画でもある。老妻と死に別れ、1人になった夫が、故郷に帰り、最後に血の分けた子供ではない次男の婚約者に“一番良く世話をしてくれたね”と、お礼に老妻の愛用していた時計を形見として渡すところは前作でも目頭が熱くなるシーン。今回も全く同様の印象を受けた。高齢者のみならず若い人にもぜひ鑑賞してもらいたい作品。

鑑賞後喫茶店でこの映画の印象をそれぞれ語り合う。NALC本部もこの映画に協賛し、鑑賞割引券を各地区に要請あり。当地区も協賛し20枚を購入完売する。1枚100円の割り戻しあり、それは地区の資金として会の収入に。  
(高橋俊雄)